



2017-18年度ガバナー

神野 重行



ロータリー:
変化をもたらす

2017-18年度R.I.テーマ

R.I.会長 イツ H.S. ライター

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16 ミナミビル402

TEL 052-253-7821 / FAX 052-253-7820

例会場 ウェスティンナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121

〒451-8551 名古屋市中区稲の口町3番19号



第25回例会

2018年1月11日(木)

司会進行 野村 治

「君が代」斉唱 「奉仕の理想」唱和

会長挨拶

酒井 俊皓 会長



皆さん、明けましておめでとうございます。

本日は、次年度ガバナー補佐の鈴木正輝様と後程卓話をさせていただき立浪和義様にお越し頂いております。ようこそいらっしゃいました、宜しくお願いします。また、新入会員の不破直行様が初参加です。本来ならば、新入会員入会式を行うのですが、次回の例会時にさせていただきますので宜しくお願いします。

昨年で上期が終了しましたが、12月の家族例会は皆様ご承知のとおり、和気藹々の中で、大変盛り上がったものとなりました。当クラブ設立1年にして、やっとメンバーの気持ちが一つになってきたと感慨深いものがありました。どうか、下期もメンバー全員が一体となって一步一步着実に前進していきたいと思っています。

さて、本日の卓話者は、元中日ドラゴンズ選手、ミスタードラゴンズの立浪和義さんです。私は、この正月ハワイに行っていたのですが、4日(日本5日)に、星野仙一監督が逝去されたとのメールを受け取りました。びっくりして何人かの知り合いに電話をしたのですがまだ誰も知りませんでした。45,6年来の付き合いだったので、追悼番組を見ていると色んなことが思い出されてつらい思いをしています。逆に言えば、星野さんらしい逝きかただなとも思います。ご冥福をお祈りします。

立浪さんとの出会いも、1988年に星野監督率いる中日ドラゴンズがアメリカ、フロリダのベロビーチにあるドジャースタウンで春季キャンプを行ったときです。練習を見ていたアメリカ人が「あのリトルボーイはなんだ。」と聞いたので「ドラフト1位のルーキーできつと素晴らしい選手になる。」といったことを覚えています。また、その年優勝旅行でオーストラリアに行ったのですが、ゴールドコーストのホテルの夕食の時にすき焼きのテーブルが立浪さんと一緒だったこと、彼が一生懸命、私に肉や野菜をとってくれたのも懐かしい思い出です。

ここ数年の中日ドラゴンズの低迷は、皆さん歯がゆい思いをされていると思います。私もそうです。星野監督は、何時も「俺の時は、ナゴヤドームはいつも満員だった。」というのが口癖でした。ファンは、もちろん勝つことも大事ですが、見ていて楽しい野球、わくわくするような魅力のあるプレーや野球を期待しています。はっきり言って個々の選手は別として今の中日ドラゴンズには魅力がありません。フロントと現場が一体となって、

どうしたら強いチームになるのか、どうしたら魅力あふれるチームになるのかを真剣に考える必要があると思います。そのための第一歩は、立浪監督の誕生をおいてほかにはありません。いろいろ難しい問題があることは承知しておりますが、ドラゴンズファンの悲願です。皆さんにもご協力をお願い申し上げます。報告とします。

出席報告

堀田 崇 副委員長

	会員数	出席数	出席率
当日(1/11)	43	27	64.2%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(12/21)	42	42	100.0%



ニコボックス報告

堀田 崇 副委員長

明けましてお目出とうございます。本日は次年度の打合せを、奥村次期会長(会長エレクト)と例会前にさせていただきました。次年度は名古屋宮の杜の会員の皆様いろいろなとお世話になるとは思いますが、よろしく願い致します。

豊田三好RC(次年度ガバナー補佐) 鈴木正輝 様
鈴木次年度ガバナー補佐をおむかえして。

奥村与幸

1月8日で60才になりました。(還暦)本年も宜しくお願い致します。

浅野信

本年も宜しくお願いします。

酒井俊皓

明けましておめでとうございます。残り半年間宜しくお願い致します。年賀状大変失礼致しました。

高木勝

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願います。

遠山堯郎

増田盛英

不破さんようこそ宮の杜RCへ。

いっしょう楽しんでやっていきましょう。

山下智己

不破さん、ようこそ宮の杜へ。

河村直樹

不破さんようこそ宮の杜RCへ！！

鈴木拓将

ふわさん入会オメデトウ

加藤謙一

不破さんようこそ宮の杜ロータリーへ

田中吉彦

ようやく合流しましたね。うれしいですよ！

出口茂

あけましておめでとうございます。今日は、欠席して申し訳ありません。堀田さん、ニコボックス報告よろしくネ。

不破さん、入会おめでとう！！

河合秀紀

新しい年がはじまりましたね！自分の心の中によるこびと楽しさの光を見つけて下さい。きっと楽しさが広がる一年になりますよ！

山城徹也

第25回例会を祝して

浅野慎之 樋口昌男 堀場和孝 細川雅也
小林弘和 牧野敬充 水野紀孝 佐野洋一郎
鈴木達央 高木俊郎

親睦活動委員会より報告 牧野 敬充 委員長

有志で沖縄へ行きましょう。中日のキャンプへ行ったり、ゴルフをしたりなど考えております。ご興味ある方はご連絡ください。【日程:2月2日(金)～4日(日)】



R情報委員会より報告

～「ロータリーの友」おすすめページ～ 田中 吉彦 委員長

【P8～11】職業奉仕について考える

今月は職業奉仕月間ということで抜粋しました。職業奉仕はロータリーの金看板でもあります。非常に難しい内容で、読んでみると更に疑問が深まりますが、その疑問が深まった状態を共有したいと思いますのでご一読ください。



幹事報告

高木 勝 幹事

- 1月ロータリーレート＝114円
- 2/24(土)IMは例会日としている為、欠席の場合はメイクアップが必要となります。
- 次回例会1/18(木)18:00～20:00@エフブンノイチ「創立記念例会」



卓話「私と野球人生」

中日ドラゴンズ 立浪 和義 氏



みなさん、こんにちは！

まず始めに、不破さんは私の同級生です。甲子園練習で一緒になったことがあります。本日会員になられたということで、甲子園のことを懐かしく思いました。

私は小学校4年生から約30年間、野球をさせて頂いております。小、中、高、それからプロになってからも共通することは、厳しい指導者に恵まれたということです。それが今振り返ると私にとって一番良いことでした。特にプロになってから出会った星野さんです。

高校3年生の時に名投手である南海ホークスの杉浦監督が私を一位でいきと言ひ、あとの評価は二位もしくははずれ一位でした。本来であればそのままプロ入りする予定だったのですが、ドラフト3日前に中日が取ろうとしていた鈴木哲氏がプロ入りを拒否したこともあり、星野さんから「お前が中日にくる気があるのであれば、俺がくじを引いてやる」とスカウトされました。ドラフト当日、なんとも言えない気持ちでテレビ中継を見ていたのをよく覚えております。杉浦監督と星野さんが壇上に上がり、星野さんが私を引き、右手でガッツポーズをするということから私が中日に入ることができました。今思えば、高校生である私を一年目から使ってくれたというなんとも言ひ難い恩師である星野さんが新年早々亡くなってしまい、非常に寂しい思いをしました。

中日の試合で見る星野さんはとても怖いイメージでした。しかし実際入ってからの印象はそれ以上に恐かったです。毎日怒っていました。人間ってこんなに怒れるのかというくらい厳しい方でした。ただ、亡くなられてから色々な番組で星野さんの人柄が報道されておりますが、厳しいだけではもちろん人はついてきません。

当時は自分を含め、山本さん、中村さん、今中さんはよく怒られていました。私は比較的少しか出来が良かったのか、怒られる割合が少なかったです。中村さんは毎日怒られて殴られて、試合中にも殴られて、血を流しながら守りにいく中村さんを見て、相手バッターから心配されるということもありました。

当時の教えは「やられたらやり返せ。」でした。たとえわざとでなくても、デッドボールを食らったら、やり返せというルールのような暗黙の伝えがありました。例えば、キャッチャーとバッターのやり取りでは、うちの選手が前の回に当てられて、当時ヤクルトの広沢さんが打席に立った時に、「やっぱりくるよな、くるのは分かっているから腰の下にしてくれ。」という会話があたりりました。今ではWBCなどの全日本で集まる機会もあり、選手同士が非常に仲良くなっているのですが、このようなことは少ないですが、当時はバッターとキャッチャーのわずか1メートル間の審判も聞いている中でこのような会話がありましたから、

今思うと大変な時代にプロ野球に入ったなと思っております。

私は一年目から順調にレギュラーとして頑張ることができておりましたが、ナゴヤドームになってから3年くらい成績がでなかったことがありました。その時に星野さんから「お前は今までやってきた実績があるのだから、調子が悪くても、成績が悪くても、こういうときだからこそ人に言えなければならない。」と怒られたことがありました。また、ナゴヤドーム元年に調子が上がらず最下位になったとき、毎日のミーティングで「和義！」と怒られていたのですが、ある日の試合終了後、監督の部屋に呼ばれ「和義、何か悩みがあるのか、悩みがあるならなんでも言え。」とすごく優しく声をかけて頂いたことがありました。その時自分は涙を流し、それを見た情深い星野さんは一緒に泣いてくれました。そういった監督だからこそ私はなんとかしてこの人を胴上げして一緒に喜びたいと思いました。本当に厳しい方でしたが、そのおかげで、その後どんな人が監督になっても、なんの抵抗もありませんでした。

自分が人生で一番大切なことを学んだのが、高校生であるPL学園時代です。

中学の頃に所属していたナニワボーイズの監督の関係で大阪の強豪チームに入ることが決まったのですが、どうしてもPL学園に入学したく、母親と監督の自宅へ行き「一度決まったことを覆すのは申し訳ないですが、どうしてもPLで野球がやりたい」と言いました。当然、監督の顔に泥を塗るような形になる為、すごく険悪なムードになりました。ただ、後々自分がPL学園で頑張ることによって、監督も認めてくれ、そのナニワボーイズからもPL学園に入ることができるようになりました。

いざPL学園に入ってみると、聞いている話よりもはるかに厳しく想像を絶する世界でした。例えば、一年生のときの話をすると、全体の起床は6時半ですが、「6時に目覚ましなしで起きろ。」ということから始まりました。それから6時半までに朝ごはんを食べます。ごはん・味噌汁・生卵（卵は煮ても焼いてもいけぬ）を毎日一年間食べていました。体も疲れて朝食がなかなか進まないときもあり、現在阪神のバッティングコーチをしている片岡氏がカーテンにくるまって携帯用の海苔の佃煮と一緒に食べていると、たまたま早く起きた上級生に見つかって「殺すぞ！」とボコボコに殴られることもありました。その時彼は「海苔の佃煮を食べて殺されたら、親が泣くわ。」と言っていました。今度は是非ナゴヤドームに行かれたら見てください。彼は阪神の厳しいコーチですから、若手からも一目置かれている存在です。そんなことから一日がスタートし、学校へ行くときは約2キロ歩調をかけて行きます。そしてお恥ずかしい話ですが、学校へ到着すると1～4時間目まで寝っぴなしです。5時間目が終わる10分前に先生に起こしてもらい、学校の教室で屈伸などの体操をし、チャイムが鳴ると同時に汗だくになって全力疾走で帰り、先輩のユニフォームを綺麗に並べ、グラウンド整備をして、練習を2時間半～3時間程します。3年生はその後もスイングやバッティング練習をしていました。練習を終えると上級生の食事の時間になり、食堂で2時間程ウェイトレスのように立ちます。おかわりのときは机をバン！と叩かれ、一番近い人が取りに行きます。慌ててご飯粒を茶碗の淵につけたまま持っていくと、全体責任になり、集合がかり説教されることもありました。このような説教があった時には、他の事件も重なり、夏でも平気で1週間お風呂に入れないこともありました。入れる時であっても5分しかありません。女の子に臭いと言われることもありました。このように理不尽なことでたくさん怒られたり殴られたりしていました。消灯は22時で、5分前に先輩のマッサージが始まります。

早い人は1時間から1時間半程で終わるのですが、長い人は2、3時間します。ようやくマッサージが終わると、先輩のユニフォームの洗濯をして、その間にスパイクを磨きます。要領の悪い人は寝るのが2、3時になってしまいます。それなのに起きるのは目覚ましなしで6時なので、18人中3人逃げ出しました。

ごうだ氏と同部屋になった時は、毎朝5時に起きて隣接しているゴルフ場を走って、帰ってきて草むしりをしていました。

PLに入って一番良かったことは、「徳を積みなさい、感謝をしなさい、奉仕の気持ちを持ちなさい」と教わったことです。そして、活躍されている方の野球に対するひたむきな姿勢を近くで見ることができたことにより、少々成績が上がっても決して甘えることなく野球を続けてこれたことです。

若い時に厳しい環境でもまれたことによって、人間にとって一番大切である、「我慢すること」を学びました。今の時代はこのような厳しいことをすると大変なことになってしまいますが、プロに入って22年間、決して大きくない体で頑張ってきたのは、若い時の厳しい経験があったからこそだと思います。

プロに入ってからは星野さんという素晴らしい監督に恵まれて、ナゴヤドームという素晴らしい球場ができて、野球は好きでしたが、なかなかうまくいかないこともたくさんありました。そんな時のオフに、中村日赤の障害者野球というところへ顔をださせて頂く機会がありました。小児病棟にユニフォームを着て行くと、その姿を見た子供たちがすごくうれしそうに顔をして、「元気になったら、ナゴヤドームに応援に行きます！」と言ってくれました。そして、その子たちが義足であったり片腕がない中、ハツラツと野球を楽しむ姿を見て、やはり甘えてはいけぬなと思いました。すごくいいタイミングでこのような素晴らしい経験ができたと思っております。それ以来、今の暗いニュースや考えられない事件がある中で、私自身が変わらず大切にしていきたいことは、困っている人がいたら助けてあげるといことで、人間の本来あるべき姿なのだと常に思っております。

野球をやめて9年経ちますが、やめて一番悔しかったのは、谷繁氏が監督をしたことでした。好き嫌いではなく、年下の横浜からきた人間がなぜ中日の監督を先にやっているのだと思うなど、相当な悔しい思いをしたり、相当な嫌がらせもありましたが、今は我慢だなと思いつつ日々自分自身を鍛えていかなければと思っております。

今後、星野監督のような方は出てこないと思えますし、それを真似することも難しいですが、今の中日を見ていて思うのは、明るく楽しくではないと思えます。プロの世界ですから、明るさは大事ですが、明るくて活気のあるみなさんから応援してもらえるようなチームが理想的だと思います。

私は引退する前から中日の指導者になるという大きな目標をもっていました。なかなかうまくいかず、外へでてユニフォームを着ようと思ったこともありました。しかし、ふと、女房から「やっぱりパパは名古屋でお世話になって育ったのだから、また名古屋でユニフォームを着れるように応援してくれる人がいる限り頑張らなさいいけぬよ」と言われて、今は今できることである野球解説や講演などをして、たくさんの方と会って、いろんなことを吸収して必ずいい指導者になって期待に応えられるようにと思っております。

外で食事をしていたりすると、「いつ監督やるの？」「中日をなんとかしてよ」とこの二つの言葉をよくかけられます。自分でなんとかできる問題であればなんとでも返せるのですが、なんとも言えないので、

「いつもありがとうございます、頑張ります。」としか答えられずすごく辛いです。ただそういった期待してくれる人がいる限り頑張りますので、そうなった時は是非とも優しく…と言いたところですが、悪いときはほとんど叱咤を頂かなければ強くはなりませんので、どうぞ宜しくお願い致します。

各局の番組に出させて頂いて感じるのですが、悪い時でもなんとかいいことを探していいことだけを報道しようというのはダメだと思います。悪い時は叩かれて、それによって選手が奮起して強くなると思うので、いい時を継続させる為にはそういった体制も変えていかなければと思っています。

今決して戦力がないわけではないと思いますが、昨年沖縄のキャンプへ行ったときに感じたのは緊張感を感じられませんでした。今年はダメだろうなと思っていたら案の定でした。もっと目の色を変えて練習をしなければ、チームは強くなりません。若い選手が増えてきて厳しい指導はなかなか難しいかもしれませんが、褒めて伸ばすでは続かないと思います。自分がプロにいたときは130試合、今は143試合となっており、当時よりもっと厳しい時代になってきている中で最低限の厳しさがないとチームは浮上していかないと思います。あまり私も言えませんが、みなさんには引き続き応援して頂きたいと思っています。

最後の3年間半、代打のポジションを経験して、初めて控えの気持ちを知ることができました。控えルームで控えの選手、若い選手がどんな気持ちで出番を待っているか、野球に対してどんな気持ちを持っているかを感じられたことも、引退してからの自分にとって大きなことでした。試合にでれなくなって、打っても打てなくてもずっと声援を頂きました。この声援をタダでもらってはいけないと思い最後の3年間半は誰よりも早くグラウンドへ行っていました。打てなかったときには帰ってからみなさんの歓声が悲鳴に変わって天を仰ぐ姿を思い出して、明日はなんとかしてやろうと体に鞭をうって球場に通った3年間半は、これからの私にとっていい経験に活かせれたらと思います。今はこういった気持ちで頑張っておりますので、今後とも応援宜しくお願い致します。



立浪 和義 様

卓話にお越し頂き、

誠にありがとうございました。



例会後クラブアッセンブリーを開催しました。

各委員長より下期にむけての事業方針、活動計画の発表が行われました。

次回例会 【第27回通常例会】

日 時： 2月1日(木) 12時20分～13時30分

会 場： **ホテルナゴヤキャッスル3階「松竹の間」**

その他： 例会後に第8回定例理事会を
予定しております。

